

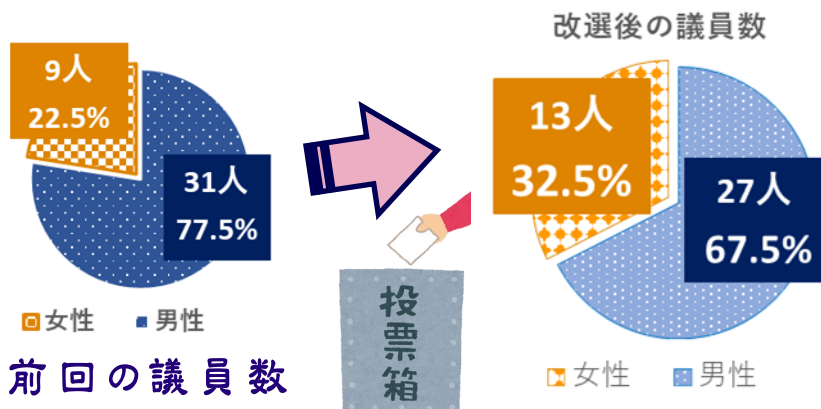
那覇市議会議員に 女性議員 13人 が決まりました!!



令和3年7月11日に投開票が行われた那覇市議会議員選挙の結果、定数40人中、女性議員13人が誕生しました。

改選前は、市議会議員40人中、9人の女性議員で22.5%の割合でした。この数値は、沖縄県内の市町村における議員数では、最多でしたが、今回の選挙では、さらにそれを上回る結果となりました。

また、「那覇市女性活躍推進計画」の中で、「政治分野における男女共同参画推進に関する法律」*に基づき、女性議員を増やすための環境づくりとして、意識啓発講座やシンポジウム等の開催、国内外の情報提供を促進していくこととしています。



政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

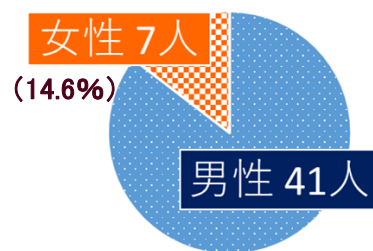
(平成30年5月23日交付・施行)

男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指す法律です。

政策・方針決定の場や政治分野への女性の参画や、企業や地域などにおいて管理職ポストやリーダー等への女性登用を推進するための取組が必要であり、これらの取組が推進されることで、性別による役割分担意識の解消や女性のみならず、男性の働き方への意識改革にもつながります。

日本の現状は、国会、都道府県議会、市区町村議会などで女性議員が少なく、諸外国と比較しても非常に少ないため、議会に女性が参画することで、より暮らしやすい社会となるための取組が反映されることが期待されます。

沖縄県議会議員数



県議会議員では、48人中7人が女性議員となっており、全国都道府県平均の11.5%を3.1ポイント上回っています。

「全国女性の参画マップ(地方議会編)」
内閣府男女共同参画局2021年7月より

なは女性センターを利用される皆さまへご協力をお願い

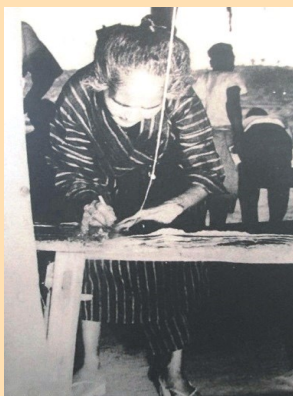


「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。

体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。

今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。

県の「緊急事態宣言」が発令中のため、当面の間、休館いたします。



▲収容所で市会議員選挙の投票をする女性。
(1945年9月20日)

本市では、沖縄の女性が初めて選挙権を行使した1945年9月20日を記念して、「那覇市男女共同参画推進条例」において、毎年9月20日を含む1週間を「男女平等週間」と定め、社会のあらゆる分野で男女平等が確立できることを目的に啓発活動を実施しています。

今年度は、「沖縄に生きた女性たち」をテーマにパネル展示をし、戦後の混迷した時代に、誰もが生きやすい社会をつくりたいと決意し奮闘した女性たちを紹介します。

パネル展示期間：令和3年9月15日(水)～

場所：なは市民協働プラザAコア1階 なは女性センター入口壁面

*現在、なは女性センターは、県の「緊急事態宣言」発令中のため、閉館中です。
今後の状況により変更する場合があります。

*沖縄は戦後、米軍施政権下に置かれたため、憲法も無く、自治権はかなり制限されていました。沖縄県民の代表である国会議員が初めて選出されたのは1970(昭和45)年です。本土復帰の2年前のことでした。

	1945	1946	1947	1948	1950	1952	1968	1970	1972
日本本土	20歳以上の男女 女性参政権実施	第22回衆議院議員選挙 4/10	第1回知事公選 女性が初めて参政権を行使	この時当選した 那覇市初的女性市議 (当時：首里市議会議員) 武富セツ		唯一の女性 立法院議員 宮里初子		女性初の 県議会議員 上江洲トシ	
沖縄	25歳以上の男女 女性選挙権実施	収容所で市長・市会議員選挙 9/20	本土より7か月早く 女性の選挙権が 行使された。	新選挙法により選挙権25歳→20歳 20歳以上の男女	11人の女性議員誕生 市町村長及び市町村議会議員選挙	群島政府の知事及び群島議会選挙 琉球政府発足 第1回立法院議員選挙	琉球政府行政主席選挙 女性参政権実施	戦後初の国会議員選挙 琉球政府→沖縄県に 本土復帰	戦後初の県議会議員選挙 沖縄初の県知事選挙

沖縄の女性が
初めて
参政権を行使

なは女性センター 25周年

25周年を迎えるにあたり、
そのあゆみを振り返ります。



▲琉球舞踊で歓迎のセレモニーを行い、紅型の手サージと琉球漆器をプレゼントしました。(写真左:ベアテさん)



▲会場は満席となり、別室で、モニター画面での参加者も多くいました。

なは女性センター開館から半年後の97年4月20日に、「いま語られる日本国憲法ウラ話 日本女性を救った歴史の証人」と題して、ベアテ・シロタ・ゴードンさんを講師に招き、市民女性学特別公開講座を開催しました。

ベアテさんは、22歳の若さで、「日本国憲法 第24条」(婚姻や家族に関して男女が同等で平等である)の人権条項の草案作成に尽力されました。

これまでの明治民法では、女性は全く権利を持たない「無能力者」とされていました。女性には、土地の売買、借金、裁判、労働契約などの資格がなく、また、女性は婚姻すると、夫の同意がなければ重要な法律行為ができなかったのです。

ベアテさんの講話では、日本女性の権利をめぐる論争に長く時間が費やされたこと、女性が権利をすべて行使するためには、時間がかかることなどをお話されました。

講座前日の夜、ベアテさんを那覇空港にスタッフ皆で、お迎えに行きました。ニコニコ笑顔のベアテさんが印象に残っています。



★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の
閲覧ができます。★貸出し期間:2週間 お一人2冊まで

新着本を
ご紹介します♪

①健康ライブラリー イラスト版

『新版 適応障害のことがよくわかる本』

貝谷久宣 監修/講談社/2018年10月発行

環境の変化などに伴ってミスが増え、怒りや焦りが表面化してしまう体験はありますか。人間は日々ストレスにうまく対応しながら生きています。しかし、そのストレスがうまく対処できず、ひとりで抱え込んでしまった場合、誰でも適応障害を発症する可能性があります。

本書は、適応障害を発症した際の症状や特徴について紹介しています。要点が完結にまとめられているため、初歩的な学びや大切な人のサポートに役立ちます。



②健康ライブラリー イラスト版

『依存症がわかる本』

防ぐ、回復を促すためにできること

松本俊彦 監修/講談社/2021年6月発行

アルコール依存症やギャンブル依存症など、「依存症」とはどのような特徴があるのでしょうか。依存症の性格、対処や回復、予防教育について丁寧に説明されています。

ある対象に依存することは、人間として自然であると言えます。ただ、依存症になった場合、依存する対象の深みに入り込み、自らの意思で決断したり判断したりすることが難しくなるという問題に直面します。誰も孤立しない、孤立させないための一冊です。



③『北欧に学ぶ小さなフェミニストの本』

サッサ・ブーレグレン 作/枇谷玲子 訳
岩崎書店/2018年5月発行

10歳の女の子エッパは、ある疑問を出発点にフェミ・クラブを開催します。フェミ・クラブでは、不平等について話すために集い、女性たちの歴史について学んでいきます。

本文のなかで「支配の手口」という章があります。ノルウェーのベリット・オースの説である、5つの支配の手口が紹介されています。支配から解放されるために、これから学んでも遅いということはありません。大人も楽しく読むことができる児童書です。



④『わたしを生きる知恵』

80歳のフェミニストカウンセラーからあなたへ

河野貴代美 著 対談:岡野八代/三一書房/2018年1月発行

本書は、長年フェミニストカウンセリングの実践を積んだ河野貴代美の執筆と、岡野八代との対談、そして4人の女性によるコラムが掲載されています。

女性たちを取り巻く環境の一つに、結婚や出産を経てこそ女性は幸せなのだという神話が根深く残っています。当然ながら、女性の人生の選択肢は「妻」や「母」になることだけではありません。女性たちは自分自身の人生を生きることができる!という力強いメッセージにエンパワメントされます。



相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談（女性のみ・要予約）
- 法律相談（女性のみ・予約制）

 **098-861-7515**
月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。



性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

那覇市パートナーシップ登録

「那覇市パートナーシップ登録」は、戸籍上の性別が同じである2人の申請に基づき、市長が両者をパートナーシップ関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、証明書を交付するものです。

■「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取組です。登録によって何らかの法律上の効果(婚姻、相続、税金の控除など)が生じるものではありません。

■お問い合わせ・申請の予約■

098-951-3203

◆ 月～金：午前9時～午後5時

* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始を除く

登録数 **36組**
2021年8月15日現在

レインボー交流会を開催しています!!

「交流の場がほしい」「当事者と知り合いたい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた、誰でも参加できる交流会です。みんなが安心して語り合える場所作りを目指します。

開催日：日程が決まりしだいお知らせいたします

主催：市民団体てぃーだあみ

問合せ先：tiidaami.okinawa@gmail.com

※「レインボー交流会okinawa」で検索すると、フェイスブックで最新情報を確認できます。

→ <https://www.facebook.com/rainbow.okinawa/>

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ
#8891
24時間365日

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。また手話通訳、一時保育(現在休止中)の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

お問い合わせ

那覇市 銘苅 2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)
TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204
Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

開館時間

月～金：午前9時～午後9時

土曜日：午前9時～午後5時

休館日

年末年始(12/29～1/3)

日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)

駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は有料です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間までごとに	100円

※利用時間に1時間に満たない端数があるときは、その端数を1時間として計算する。



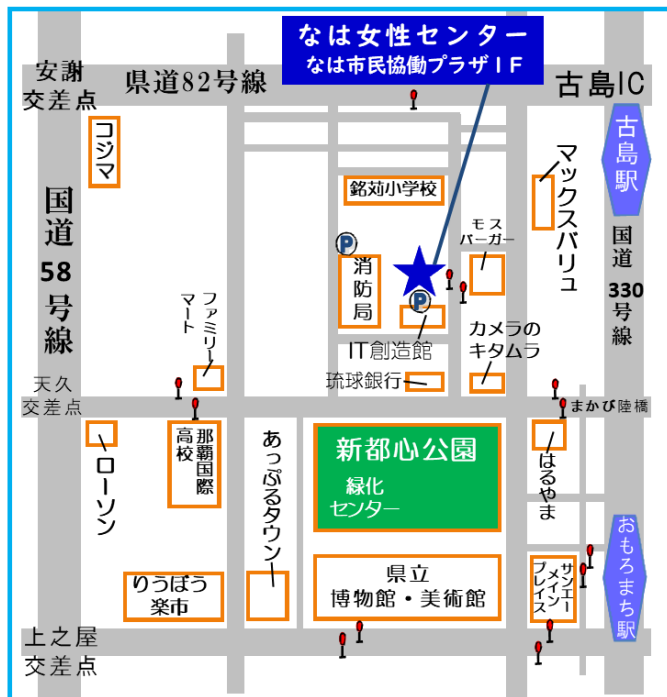
メール



ホームページ



Facebook



●ゆいレール「古島駅」から徒歩7分・「おもろまち駅」から徒歩20分

●路線バス ★なは市民協働プラザ前バス停 IO 牧志新都心線

★銘苅一丁目バス停 8首里城下町線 徒歩3分

[国道330号側] ★興南高校前バス停 ★真嘉比バス停 徒歩7分

[県道82号側] ★古島バス停 徒歩7分

